

東京大学・健康科学・看護学科 講義

『人類生態学』 2006年度 6月6日 1－2限

概論(2)行動適応・文化的適応

梅崎昌裕

講義の本題に入る前に

■人類の直面する問題には「答え」がない。

(例) 終末期医療. . . 個人の死ぬ権利を認めるか.

(例) 出生前遺伝子診断. . .

(例) 二酸化炭素排出量の国別規制. . . 南北問題

(例) 途上国における貧困と健康の問題. . . 援助の論理

「教科書に書いてあることを理解して記憶して」ではなく、ある前提のもとに、それぞれの問題への妥当解を見つけるしかない。例えば、「人間は利用可能なすべての技術と資源をつかって生存すべきである」という前提と、「人間の生き死には個人が決めてよい」という前提、「医療費を最小化すべきである」という前提、

それぞれについて、それぞれの考え方がある。

「健康」に影響する要因

南太平洋の肥満：食べ過ぎ，運動不足

日本の高血圧：塩分のとりすぎ

東南アジアのマラリア：ハマダラカの吸血

南太平洋のデング熱：ヤブカの吸血

では，なぜ食べ過ぎるのか，なぜ蚊に吸血されるか
→人類生態学の関心

「健康」に影響する本質的要因の例

南太平洋の肥満：食べ過ぎ，運動不足←イモ中心の食生活から輸入食品中心の食生活へ，生業の変容←西洋社会との接触

日本の高血圧：塩分のとりすぎ←みそ，干し魚，漬け物などの保存食←冬には作物がとれない

東南アジアのマラリア：ハマダラカの吸血←ハマダラカの生息に適した環境＝水田の用水路←水田農耕の発達

南太平洋のデング熱：ヤブカの吸血←家の周りにヤブ蚊の生息環境（古タイヤ，缶，ビンなど）←生活の西洋化

本質的要因＝「食べ物を手に入れる」「食べる」「次世代の子供をつくる」
＝生存戦略

生存＝個人が生きるという意味＋集団が存続するという意味

なぜフィールドワークが必要なのか

現地に滞在
現地食
長期間
現地の言葉を話す



フィールドワーク

お出迎え・交渉
“フィールドワーカー”の教育
現場の視察
フォーカスグループ
この子どもたちを助けたい..



フィールドワークの反対

文脈(context)



W杯サッカー・豪州はオランダと引分け(EPA＝時事)

一次データと二次データ

＜人口動態統計＞

パプアニューギニア南高地州にある国立医学研究所の管理する
大規模コホートデータ (N=40000)

→ 村ごとの住民リスト (名前, 性, 年齢)

＜政府の統計＞

たとえば, 中国の地方都市G

世帯収入, 予防接種率, 換金作物畑の面積

大規模データ	←→	小規模データ
不正確	←→	正確

「部外者の先入観」

＜資料＞メディアによる表象の恣意性について：飯田卓「イメージの中の漁民：ある海外ドキュメンタリー番組の分析」，民博通信，2001.



人類の直面する問題(食糧, 環境, 人口)へのアプローチ

フィールドワーク研究

小さな対象集団

地域ごとの事例

変数間の関連性の証拠

事例の集積による一般化

それ以外の研究

地球／国レベルを対象

問題の一般的解決策の模索

変数間の関連性を解釈

統計分析による一般化

「健康」に影響する本質的な要因

私たちが生きていける本質的な仕組み？

- 食べ物を手に入れる
- 食べる
- 次世代の子供をつくる



生存戦略

→

それぞれの社会が固有の仕組みをもつ.

それぞれの社会に生きる人々の「健康」と密接な関係をもつ.

普段は意識しないが, かなり, よくできている.

健康の人類生態学的理解(1)

(例) 南太平洋の肥満・糖尿病の問題
トンガ・サモアなど南太平洋の肥満
なぜか？

移住の歴史

食生活の変容

胎児期の栄養状態

肥満に対する文化的理解

健康の人類生態学的理解(2)

(例) 日本人に牛乳を飲むとおなかがゴロゴロする人が多いのはなぜか？

ラクターゼという酵素の欠如

乳製品は誰が利用してきたか
家畜の飼養にかかわる文化的理解
遺伝的な選択

健康の人類生態学的理解(3)

(例) オーストラリアの白人に皮膚癌が多いのはなぜか

オーストラリアの先住民は

白人の移住史

メラニン色素の役割

オゾン層の破壊

1. あなたを含む100人が熱帯の無人島に漂着したとする.
どうやって生き延びるか.

- 救助の船が来るまで生きのびる対応

1. あなたを含む100人が熱帯の無人島に漂着したとする.
どうやって生き延びるか.

- 10世代先の子孫を残すための対応

2. あなたを含む100人が北極の無人島に漂着したとする.
どうやって生き延びるか.

- 救助の船が来るまで生きのびる対応

2. あなたを含む100人が北極の無人島に漂着したとする.
どうやって生き延びるか.

- 10世代先の子孫を残すための対応

1万4000年前

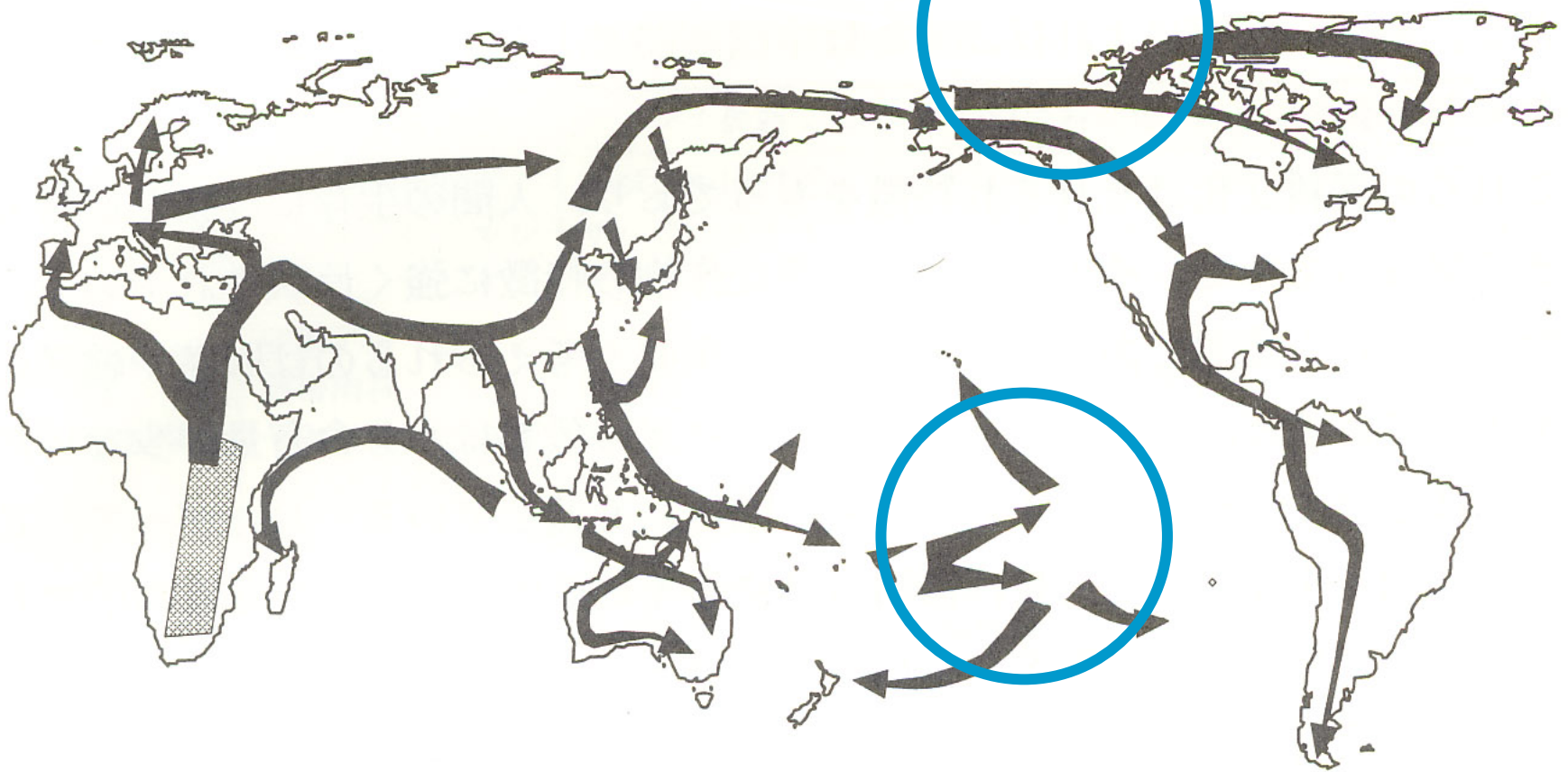


図 3-2 人類の先史時代における移住・拡散のルート (大塚・鬼頭, 1999)

数千年前

南太平洋の生活(トンガ)

- ・タロイモ, ヤムイモ, バナナなどの農耕
- ・珊瑚礁における漁労
- ・王国制, 風とおしのよい家屋
- ・黒い肌, 大きな体格

北極の生活(イヌイット)

海の動物の狩猟, バンド単位的生活, 私有概念の欠如
氷でつくった家, 防寒具の発達
生の肉, 内臓にある未消化の植物を食べる

南太平洋の生活と北極の生活の違いを生み出した要因

自然条件： 気温，降水量，日照時間，食糧資源

＋移住者がもっていた知識・常識・

考え方(文化的背景)

＋偶然(進化は偶然である)

適応

- 文化的適応（洋服，家屋，道具，仲間との人間関係のつくりかた，社会の仕組み，結婚のシステム，決まり，食物生産の方法）

健康

- 生物的適応（メラニン色素の増減，体格，疾患に対する免疫機構，高標高地域での酸素消費，寒冷・暑熱への耐性，栄養代謝）

環境への適応の結果
環境への適応そのもの

3. あなたを含む100人がニューギニア奥地の村に迷い込んだとする. どうやって生きるか.

■ 先住民との関係性をどうとりむすぶか.

戦う

婚姻はしないけど共存する.

婚姻して混血する.

あなたを含む100人がニューギニア奥地の村に迷い込んだとする。どうやって生きるか。

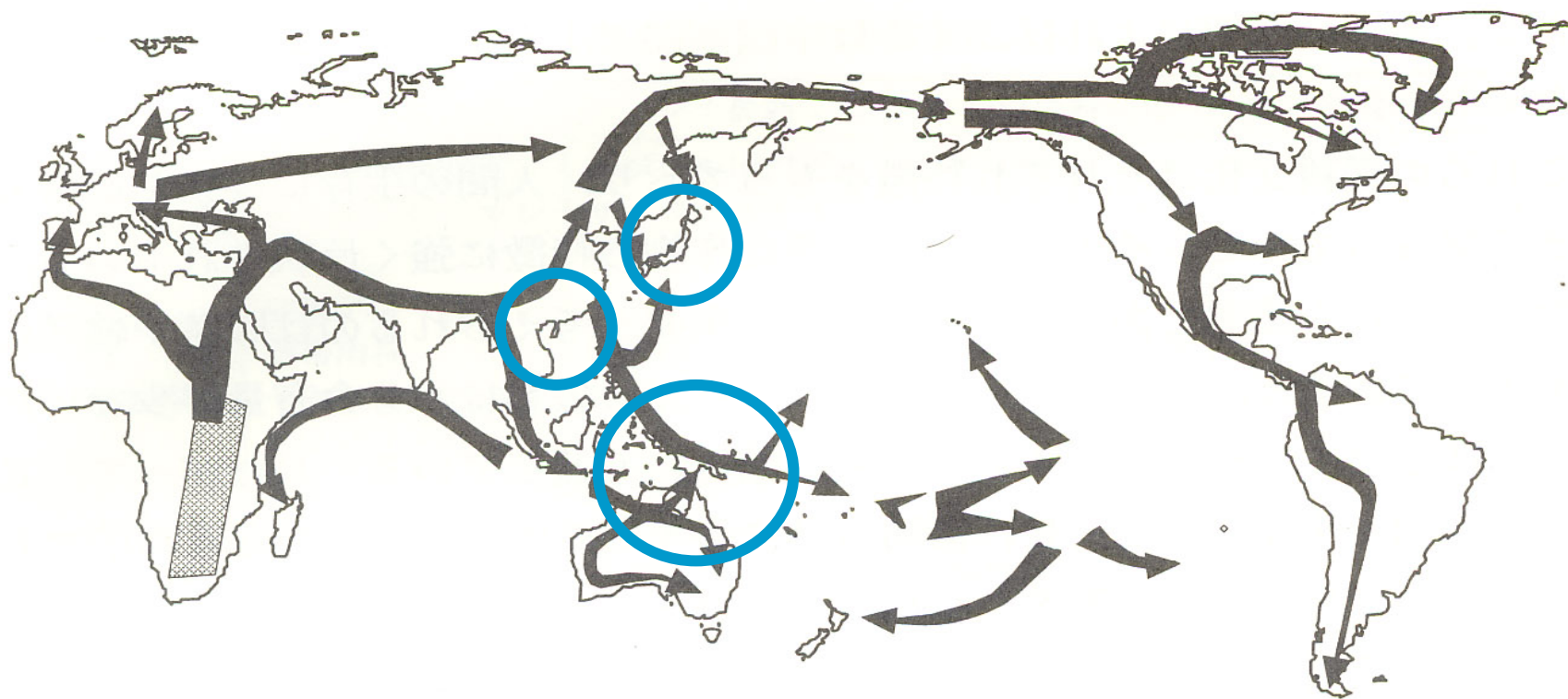


図 3-2 人類の先史時代における移住・拡散のルート (大塚・鬼頭, 1999)

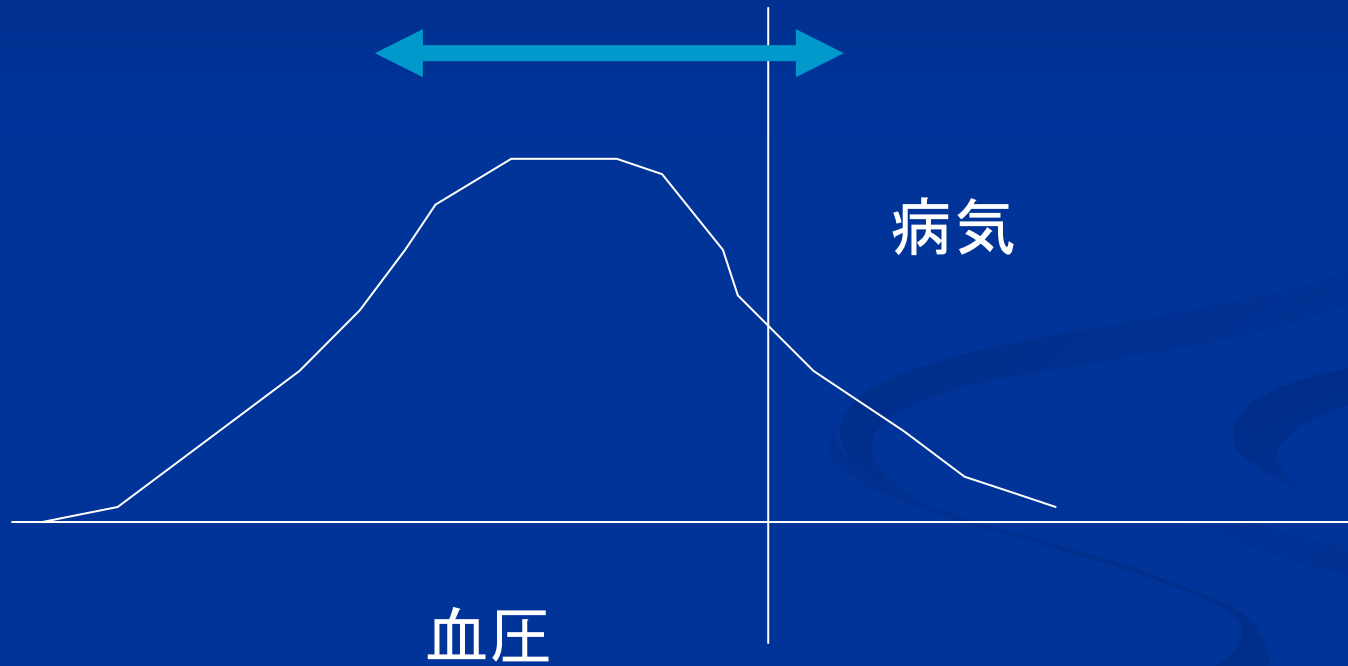
あなたの出身地の生活と東京の生活の違いは何か.

•どっちの生活がおおい??

活動量

摂取量

健康状態と病気の関係



東京に上京したことにもなう健康状態の変化

- アメリカへの日系移民
- ヨーロッパへのインド系移民
- 定住化したオーストラリア先住民

生活環境の変化にもなう健康状態の変化